

(様式 1-3)

田野畑村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和 2 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	41	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主)岩泉平井賀普代線 島越	事業番号	D-1-6
交付団体	県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)		
総交付対象事業費	2,172,000 (千円)	全体事業費	2,232,000 (千円)		
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた島越地区の市街地内の幹線道路となる(主)岩泉平井賀普代線(島越)の道路整備を行う。</p> <p>(主)岩泉平井賀普代線(島越)は、島越漁港をはじめとする島越地区の主要道路であり、生活道路としての機能のほか、水産業などの物流路線としても重要な路線である。</p> <p>今回の津波により、島越地区では多数の家屋が流失するとともに本路線が浸水し通行不能となり、切牛地区の高台に移転する計画としている。本事業は、津波浸水区域を回避して島越漁港と切牛地区を結び避難路を確保するとともに孤立を回避する、延長 1.1km の 2 車線道路である。</p> <p>現状では、令和 2 年度の事業完了に向けて事業を進めていたが、今般の台風の影響により、道路整備済箇所の一部で冠水や路肩等の決壊が発生し、一時通行止めとなった。今後の施工に際しては、被害も踏まえた条件変更による計画見直しの検討が必要であり、今般浸水したエリアを含む周辺において一体的に条件確認(測量等)を行った上で、被災検証と対策工法の検討を行うものである。</p> <p>今後は、被災検証の結果を元に令和 2 年 2 月頃までに対策工法の検討及び関係機関との協議を行い、令和 2 年 3 月頃に地元説明会を実施予定。地元の合意を得られた後、令和 2 年度当初から本線工事を再開し、令和 3 年 2 月までに工事完成、令和 3 年 3 月までに道路台帳整備を完了する予定である。</p> <p>今回、台風の被害を踏まえて、河川管理者による河川計画の見直しに合わせて、当該事業計画の再検討と道路整備が周辺地域に及ぼす影響について分析するために、第 26 回申請で測量試験費を申請するものである。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施。</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(平成 30 年 10 月 10 日)</p> <p>単価上昇から工事費が増額したため、D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(明戸)より 52,000 千円(国費: H31 予算 42,900 千円)を流用。これにより、交付対象事業費は 2,120,000 千円(国費: 1,749,000 千円)から 2,172,000 千円(国費: 1,791,900 千円)に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 30 年度>用地補償 工事等</p> <p><令和元年度>工事</p> <p><令和 2 年度>工事、道路台帳整備</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災津波により被害を受けた島越地区において、田野畑村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					